

2026年1月29日

株式会社 MBS メディアホールディングス

新春社長会見概要

本日1月29日14時より社長会見を開催し、毎日放送代表取締役社長の虫明洋一とともに、MBSメディアホールディングス代表取締役社長の高山将行が出席しました。記者会見での発言概要は以下の通りです。

【MBS メディアホールディングス社長 高山将行】

2026年、MBSグループは、ラジオ放送を開始して75年の節目を迎えます。ラジオの本放送を開始したのは、1951年9月1日。同じ日に名古屋の中部日本放送さんのラジオ放送もスタートしましたが、これが日本で初めての民間放送となります。

私たちのラジオは、大阪梅田の阪急百貨店の屋上に建設されたスタジオから最初の放送を行いました。その後、テレビ放送、衛星放送、インターネットとメディアの領域を広げてきました。2017年にホールディングス体制になってからは、グループ全体で放送以外の事業領域にも挑戦しています。

新しい事業への挑戦を続けていると、新しい会社がグループ入りしますし、また、毎年多くの方が、グループ内の様々な仕事に加わります。昨年12月1日に、デジタルマーケティングの会社、スマートシェア株式会社がMBSグループの一員になりました。こうした新しい仲間の方に、まずは自分たちの原点を紹介し、そのうえでいまのグループの現在地を理解してもらう。企業グループが永続していくためには、これが大事なことだと思っています。

営業成績についてひとことだけ触れます。2025年度中間期は、連結の売上高が403億円、営業利益が21億円で、この25年でトップクラスの成績でした。通期では連結の売上高が800億円、営業利益47億円を見込んでいます。

75周年の1年で、地域はもちろんのこと、世界にも目を向けて、放送、コンテンツ、新領域の3分野で中身のあることをしっかりやっていきたいと思えます。

【毎日放送社長 虫明洋一】

先週1月22日「よんチャン TV」で、衆議院総選挙の公約について説明した際に、非常に不適切な表現がありました。

公約やスタンスをもとに各政党を2つのグループに分けた際、スタジオのモニター画面で自民党・日本維新の会・参政党の3党を「強くてこわい日本」と表現しました。この表現は、政治ジャーナリスト武田一顕氏への事前インタビューで聞き取った内容でした。しかし、武田氏の「こわい」という表現の真意は、国民にとって「恐怖や脅威となる」という意味ではなく、周辺諸国などからみて外交・安全保障上「手強く、侮れない日本」という意味のもので、にもかかわらず放送では、そうした前提を省略して、モニター画面を作成するなど、説明不足で、不適切な表現となってしまいました。

武田氏の「諸外国にとって手ごわい」という意図を、明確に示せていなかったことに加え、モニター画面を作る際に、前提条件を省略するなど、丁寧さを欠いたまとめ方になっていると考えております。また、「こわい」という表現だけが、ネガティブ表現になっており、バランスが取れていませんでした。

引き続き政治的公平性を担保した報道に努めていくことは当然のこととして、あらためて社内に周知、徹底しました。特に選挙期間中は危機管理を担当する報道主幹らが放送前にモニターの内容、VTRのチェック、確認を行うことになっており厳しく実践しております。

各政党および視聴者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

続いて、2025年を少し振り返ります。個人全体視聴率の順位は全日4位、ゴールデン4位、プライム4位、ノンプライム3位にとどまりましたが、視聴率実数は、4区分とも前年を上回ることができました。とりわけ、ノンプライムが+0.1上昇したことについては作り手に感謝するばかりです。月曜から金曜夕方の「よんちゃん TV」、土曜の「サタプラ」「せやねん」「よしもと新喜劇」「ごぶごぶ」「明石家電視台」といった名物番組がどんどんパワーアップした1年でした。

また、海外で爆発的にヒットしている「ダンダダン」をはじめとしたアニメなど、いわゆるコンテンツビジネスも好調です。海外販売や国内配信などの数字押上げもあって、毎日放送全社の2025年度上期決算は、売上で6%、営業利益で39.5%、前年を上回ることができました。関西局のなかで、それなりの存在感を示せたと思っています。

そんな中で迎える2026年、グループとして75歳を迎えます。グループとして100年企業を目指すMBSにとって、75年は一つの通過点です。視聴者の皆さんに可愛がっていただいているレギュラー番組をさらに充実させることに注力するつもりです。アニメでは「呪術廻戦」の第3期がスタートしています。「よんちゃん TV」では、2月に山崎アナウンサーが人気コーナー「自転車たび」で故郷熊本に凱旋する予定です。同じく2月の大阪マラソンでは、川地アナウンサーが初マラソンでの3時間切りにチャレンジします。長距離大国ケニアでもトレーニングしていて、期待しています。「水野真紀の魔法のレストラン」は3月4日の放送で1000回を迎えます。2001年4月にスタート、25年にわたって関西の食を牽引してきた番組の1000回目は2時間スペシャルでお送りします。さらに3月25日には、「日曜日の初耳学」が初めての音楽フェスに挑戦します。レギュラー番組だけでもてんこ盛り。もちろん連覇を狙う阪神タイガースも中継含めて追いかけ続けます。

今年もMBSテレビ、応援のほど、よろしくお願いします。

以上

本件問い合わせ先:コンプライアンス局広報部